

第56回 東日本実業団対抗駅伝競走大会

【出場結果】

| | | | | | |
|----------|---|------------|--------|---|--------------------|
| 実施日 | ： | 11月3日(火・祝) | 場所 | ： | 埼玉県庁～熊谷スポーツ公園陸上競技場 |
| 総距離 | ： | 7区間 77.5km | チーム成績 | ： | 4時間07分27秒 18/26位 |
| 出場者・リザルト | ： | 1区 平塚 祐三 | 22/26位 | | 36分48秒 |
| | | 2区 石原 洸 | 18/26位 | | 48分03秒 |
| | | 3区 八木沢直也 | 19/26位 | | 29分15秒 |
| | | 4区 土屋 天地 | 17/26位 | | 31分42秒 |
| | | 5区 砂原 健次 | 16/26位 | | 25分23秒 |
| | | 6区 小原 大輔 | 17/26位 | | 32分41秒 |
| | | 7区 松谷 公靖 | 18/26位 | | 43分35秒 |

【レポート】

当日は強風が心配されておりましたが、レースの序盤中盤に限っては風もなく、天気にも快晴に恵まれ、この時期にしては暑い位のコンディションとなりました。

そのような中、上田県知事の号砲で埼玉県庁前から24チームが一斉にスタートしました。

1区はスタートから駅伝の流れを作り出すための重要区間となりますが、今年は新人の平塚を配置しましたが、残念ながら本来の力を発揮することができず、トップから3分差の22位で2区へ襷を繋ぎます。



1区 平塚選手

2区は7区間中最長となる15.3kmのエース区間で、ここでレースの行方が大きく左右される非常に重要な区間となります。

今年も2区を任された石原は、必死に前を行くチームを追い続け、順位を2つ上げ20位にて3区へ襷リレーします。



2区 石原選手

3区は外国人選手が唯一走るのを認められているインターナショナル区間であり、外国人のいないチームにはそれだけの走力が求められ、レースから遅れないためにも2区と同様に非常に重要な区間となります。

今年の3区には、春先から1500mに出場しスピードを磨いてきた八木沢を起用。八木沢は、必死に前を追いかけますが、順位は変わらず20位で4区へ繋ぎます。



3区 八木沢選手

4区は熊谷駅前を走る7区間の中間区間で、力の無いチームはタイム差が先頭から10分以上となり、この4区あたりから徐々に繰上げスタートとなるチームが増えてき

ます。

残念ながら今年の当社チームはここから繰り上げとなってしまいます。

4区を任された土屋も順位をキープし20位で5区へと中継します。



4区 土屋選手

5区の砂原は、足の痛みを抱えながらも、人数の少ないチームのために全力で走り切るとの強い気持ちでレースに臨みます。

砂原は集団を上手く利用しリズムを取りながら、応援に駆け付けた岡部新電元の皆様の声援を受け、19位と順位を上げて6区へ襷を繋ぎます。



5区 砂原選手

6区は、ここまで走ってきた走路を深谷駅で折り返し、再び熊谷へ戻るコースで、この区間を任された2年目の小原は、この日に向けて徐々に調子を上げて来ており、前日も良い走りで調整練習を行いました。

ここでも繰り上げの一斉スタートとなり、集団の流れに乗ってレースを進め、19位をキープして最終区へ。



6区 小原選手

7区は、いよいよゴールの熊谷スポーツ公園陸上競技場を目指す7区間中2番目に距離の長い13.5kmのコースですが、ゴール前のトラック勝負で競り合えるラストスパートの能力も必要となります。

ここにはスパートのキレが冴える松谷を起用します。連続となる繰上げスタートを上手く利用し、中盤からは順位争いをするチームを置き去りにしてタイム差を拡げて行きます。トラックへ入りギアをチェンジし、当社大応援団の熱い声援に応える見せ場を作り、大歓声のスタンドを背に18位でゴールし、今年の東日本実業団駅伝を終えました。



7区 松谷選手

※ 写真ご提供： SDK 林 安彦 様
SDK 高野美恵子 様
SDK 秋山 和也 様
SDK 屋代なぎ沙 様

【総括】

今回、ニューイヤ―駅伝出場への最大のチャンスではありましたが、それに対してチーム力を高めること、当日にピークを合わせることができず、序盤から後手に回る展開となってしまいました。

全てはチームをまとめる監督の責任であり、応援していただいている皆様や選手達に対して、大変申し訳なく思います。

そんな中、後半ある程度の巻き返しが出来たことは、成長の証であり、今後の駅伝に繋がる光明となりました。

この大会をはじめに今年も駅伝シーズンに突入し、これから12月6日に奥多摩駅伝、1月31日に地元飯能で奥むさし駅伝、2月7日には埼玉県駅伝と、近隣で3つの駅伝が行われ、当社チームも出場します。

選手達は今回の結果を真摯に受け止め、原因の分析と改善策について検討し、翌日から朝晩と集中してトレーニングに励んでおります。

この3大会にも是非、大勢の方に沿道より選手に対する熱いご声援を宜しくお願いします。

最後になりますが、貴重な連休中にもかかわらず早朝より現地まで今大会の応援に駆けつけていただきました大勢の皆様がこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

以 上